

山の百名花

滝尾 半田 隼子

【83】ヒトリシズカ

山野草の中で、私がつとも好きな花です。山道を歩く時、この花を探るのが癖になっています。でも、なかなか見つかりません。一度、鉢植えを買って育ててみましたが、残念ながら葉が出ただけで、花はさきませんでした。名前の通り、こっそりと人目を避けるように静かに咲いています。源義経の愛人で、舞の名手でもあった静御前に由来する花だとか。とにかく遠慮深い楚々とした花です。

今年はハイキングの途中で、何回かヒトリシズカと出合う機会がありました。大抵は日蔭の、やや湿った場所に、ひっそりと顔を覗かせています。埼玉県横瀬町の日向山に行った時、山道を少し外れて斜面に佇み、熱心に地面を眺めている女性がいましました。「何か咲いていますか」と声をかけると、無言で、そっと小さく手招きをされるのです。そばへ寄ってみると、濡れた落ち葉の下にヒトリシズカが咲いていました。場所を知られると盗掘されることも少なくない

そうで、枯葉を戻し、内緒にしておきました。日向山周辺は「あしがくぼ」果樹公園村

になっており、季節のフルーツを収穫できるほかに、山里ハイキングを楽しむことができます。カタクリやアズマイチゲが群生していることでも有名な場所です。ハイカーのお目当ては、勿論、「ヒトリシズカ」ではありません。慎み深いこの花は、それで満足なのでしょう。



【84】マイヅルソウ

5月にはツツジが美しい季節です。「小尾瀬」と呼ばれる井戸湿原に、ヤマツツジやレンゲツツジを見に行ってきました。余り知られていない場所のようですが、前日光県立自然公園内に位置しています。途中、窓の外には、金色に実った麦畑が広がって

いました。「麦秋」と呼ばれる光景です。この麦は、刈り取られ、ビールの原料になるのだそうです。

この日は、五月晴れに相応しい快晴で、前日光牧場には既に大勢のハイカーが来ていました。象の鼻展望台からは、雪を頂いた皇海山や浅間山を眺めることができました。そこから井戸湿原に降りてくると、ツツジの花のトンネルです。新緑の緑と青空に、ツツジのピンクやオレンジ色が映えます。皆さん、熱心に写真を撮っていました。愛子さまのお印の「ゴウツツジ」も白色の清楚な彩りを添えていました。

頭上の花にばかり見とれていると、足元の小さな花々を見過ごしがちです。気がつくくと、そこに、マイヅルソウがかわいい姿を見せていました。ハート形の2枚の葉が、舞う鶴の翼に似ていることから名前が付いたそうです。秋には赤い実を付け、まるで丹頂鶴の頭の部分を連想させます。「マイヅルソウで有名な山」というのはないのでしよう。「山の百名花」に相応しい花なのに、今まで取り上げられてこなかったようです。